教員おすすめ図書コーナー推薦書

教　員　氏　名 矢野　修一　先生	おすすめメッセージ
① 図書名： くらしのアナキズム 著　者： 松村圭一郎 出版社：ミシマ社　　ISBN：9784909394576	「アナキズム」と言えば，一問一答の用語集的に「無政府主義」と短絡させる学生が多いかもしれない。でも，アナキズムとは「国家転覆主義」「秩序を壊す思想」ではない。国家に頼ることなく，自分たちで「公共」「秩序」を生み出し維持できると信ずる思想であり，実践である。 今の日本では，ろくでもない政治屋がうろつき，不正を繰り返す大企業が内部留保をため込む。不条理だらけの世の中だけど，社会の変革を国家権力の争奪戦の先に思い描いているのでは，いつまで経っても変わりゃしない。 本書は，政治家よりも，自分たち生活者のほうが問題に対処できるという自覚を育む視点に満ちあふれている。くらしのアナキズムに元気をもらおう。おまかせ民主主義にはサヨナラだ。松村圭一郎は面白い！
② 図書名：これまでの経済で無視されてきた数々のアイデアの話―イノベーションとジェンダー 著　者：カトリーン・キラス＝マルサル 出版社：河出書房新社　　ISBN：9784309231372	車輪の誕生からキャスター付きのスーツケースの発明まで，5000 年もかかった。これなどは，ほんの一例。歴史上，画期的なイノベーションがジェンダーバイアスによってどれだけ阻まれてきたか，枚挙にいとまがない。マッチョな男性中心思考は人類の進歩を妨げてきたのだ。 2024 年５月まで，２年以上も実質賃金が低下し，閉塞感あふれる現在の日本だが，女性活躍の機会が拡大するだけで，状況は劇的に改善するだろう。私じゃなくて，世界の名だたる投資家がそう展望している。ジェンダーギャップに鈍感な企業は世界から見放されると思う。 本書を通読し，古い固定概念を捨て去って，新たな未来を構想しよう。
③ 図書名： ガザとは何か―パレスチナを知るための緊急講義 著　者：岡　真理 出版社：大和書房　　ISBN：9784479394204	メディアコントロールの行き届いた今の日本では，まともな情報がなかなか市民には届かないことがある。ウクライナ戦争もそうだし，イスラエルによるガザ地区の破壊，虐殺もそうである。アメリカ発の偏った報道が大本営発表のごとく世に拡散する。 2023 年 10 月７日を起点にしていては，ガザ地区で起こっていることは理解できない。時間軸と空間軸を少し拡張し俯瞰すれば，日頃のテレビニュースや新聞記事について，違った見方ができるだろう。 昨年 10 月，京都大学と早稲田大学で行われた緊急講義をベースにまとめられた。緊急出版ゆえか，一部に誤記や誤認もあるが，心が揺さぶられる講演録だ。次世代を担う学生にはぜひ一読を勧めたい。道を誤らないためにも。